令和4年4月 愛西市教育委員会 臨時会 会議録

開会日時 令和4年4月12日(火) 午前9時28分
閉会日時 令和4年4月12日(火) 午前11時00分
場 所 愛西市役所 北館2階 会議室2-2

■ 出席委員

教育長	平尾 理
委員	平野 英治
委員	杉方 南衣
委員	水谷 朋和
委員	大竹 節雄
委員	難波 知里

■ 説明のために出席した職員

教育委員会	教育部長	三輪進一郎
	教育部次長	小島 洋志
	学校教育課長	猪飼 政和
	生涯学習課長	石田 泰弘
	スポーツ課長	伊藤 義幸

■ 傍聴者 0名

1 開会

2 議事

- (1) 老朽化対策検討委員会からの提言について
- (2) 適正規模適正配置等検証委員会からの提言について
- (3) 中学生体験学習事業について
- (4) 愛西市教育大綱について
- (5) いじめ・不登校の現状について（非公開）
- (6) その他

3 閉会

(教育部長)	1. 開会 開会宣言する。
【教育長】	2. 議事 (1) 老朽化対策検討委員会からの提言について を議題とします。事務局より説明をお願いします。
(学校教育課長補佐)	(資料1「老朽化対策検討委員会からの提言について」より説明。)
【教育長】	老朽化に関することにつきましてご質問等ございましたらお願いします。
(委員)	概要版にあるグラフ左の単位はなんですか。
(学校教育課長補佐)	平方メートルです。
【教育長】	その他何かありましたらお願いします。
(委員)	非常に提言が分かりやすく客観的な評価値になっておりますが、このような手法はこの業界で使われているものなのかと、提言に対し教育委員会としてどのように対策を進めていくかについてお願いしたいです。
(学校教育課長補佐)	1点目につきまして、客観的な指標を用いるのは他の自治体も見受けられます。インターネットでも確認ができ参考にした部分もありますが、評価値を定めるにあたり現況値、築年数、委員考察値、学校アンケート値で表しております。委員考察値は委員の方に全学校を見ていただいたので、印象値として評価しております。 学校アンケート値は、各学校の機能面に関してアンケートを取り、学校代表で回答していただいております。これらを使った総合的指標は、愛西市独特のものでと委員長は判断されております。
(学校教育課長)	まずは、老朽化対策検討委員会の提言、適正規模、適正配置等検証委員会の提言が出てきます。 本来であれば老朽化対策検討委員会の提言に対して早急に着手すべきですが、適正規模適正配置等に合わせて考慮していく必要がありますので、やみくもにハードだけ着手するのは難しい状況になっております。 ただ、老朽化対策の安全対策にも繋がりますので相談させていただきた

	いと思っております。
【教育長】	提言について教育委員会で承認をいただいて、建築に係るところまで全くできていませんが、提言については動かすことができないので教育委員会としては承認いただくということでもあります。 専門的知識がないですが、専門家たちが多方面から5つのグループに分けていただき、一番着手しなければいけない学校は区分Ⅰの5校になります。
(委員)	知識のない人が読んでも分かりやすく説明されており、丁寧にまとめられた提言書になっているかと思います。
【教育長】	よろしいでしょうか。 〈全委員異議なし〉
【教育長】	(2) 適正規模適正配置等検証委員会からの提言について を議題とします。
(学校教育課長補佐)	(資料2「適正規模適正配置等検証委員会からの提言について」より説明。)
【教育長】	検証委員会はタイトなスケジュールでありましたが、こちらの資料をベースに検証していただいております。委員の意見を受けて、事務局が次の委員会までに考察し、委員には深掘をさせていただいております。先ほどの老朽化と同様、改正案と記載がありますが、基本方針の案を見ていただき、修正するところがあれば修正し、案を取った上で教育委員会の改訂版にしたいということでもあります。何かお気づきの点がありましたら、お願いします。
(学校教育課長補佐)	案を取る、取らないではなく、教育委員会として1つのものを作り、パブコメ等が必要かどうかの判断をいただきたいです。
【教育長】	パブコメであれば、案を残しておいたほうが良いですか。
(学校教育課長)	教育委員会は案でいくことを固めるということだと思います。

【教育長】	最終的にパブコメが終わった時に案を無くすというような形でしょうか。
(学校教育課長)	その方が良いかと思えます。
【教育長】	案を残した状態でパブコメに提出することですめます。
(学校教育課長)	検証委員会の提言までに話題に出てこなかった中高一貫校ですが、中高一貫校を推計に入れることは難しいです。現時点で方針内容を見直す議論は必要ないと思いますが、話題が出ておりますので将来的に中学校の規模を考えた時に想定している生徒数より減るとクラス編成が変わってくるかもしれないことだけ意見いただくと良いかと思えます。
【教育長】	3月6日に出たため基本方針に盛り込んでいませんでした。事務局の意見も含めて委員からご意見いただければ何らかの形で盛り込めるということになります。基本方針につきましては、検証委員会が策定ではなく、教育委員会が策定することになります。
(委員)	次の方針を受けて使われる協議会ですが、そちらの方が大事な要点になると思えます。
(学校教育課長)	焦点になっている立田八開につきまして、八開は学年1クラスですが、立田も中高に子どもが移ると、2クラス予定していたところが学年1クラスになる可能性もあり、考慮する点かと思えます。
【教育長】	中高一貫教育については、今後増加してくると思いますが市立小中学校にも色んな影響が出てくるのではないかと思います。
(委員)	検証委員会の関係も方針案の検討をいただいておりますか。
(学校教育課長)	基本方針の中身を再度検証いただいたということです。
(委員)	案を変えるにはどこが主体となり、案を作り変えるのかになると思えます。
(学校教育課長)	中高一貫の影響が読み切れない部分があり、中学校の規模が心配であることについては触れないかと思えますので、現時点では方針に触

	れないかと思ひます。
【教育長】	検証委員会で検証していただくための資料であり、最終的には教育委員会が作るものなので調整はできます。
(委員)	パブコメを受けて直される可能性もあるということですか。
(学校教育課長補佐)	修正の可能性もあります。
【教育長】	その他よろしいでしょうか。
	《全委員異議なし》
【教育長】	中高一貫校についてはあえて触れませんが、事務局としては視野に入れざる得ないことであり、検討協議会等で話題に上がれば検討しなければなりません。よろしいでしょうか。
(委員)	心構えとして、愛西市内の子が高校に進学した際、学校の生徒数における学年シェアは3割レベルとすると例えば70人のうち3割、4割というのは大きいと捉えるべきなのかどうでしょうか。
(学校教育課長)	資料3-4にあります中学校別の1クラス人数が分かるものがありますが、津島中学校に数名行ってしまうと立田中学校の1クラスが前倒しになる可能性があります。
【教育長】	影響があるとは思いますが、今回はこちらの方で進めることでよろしいでしょうか。
	《全委員異議なし》
【教育長】	基本方針の改定案として認めていただいたということでもあります。
	(3) 中学生体験学習事業について を議題とします。
(学校教育課長補佐)	(資料No.3「中学生体験学習事業について」より説明。)
(学校教育課長)	基本的には予算措置の話になるかと思ひます。

	新しい事業になりますので、取り組んでいく旨を伝えていこうと思っております。
【教育長】 (学校教育課長) (委員) (学校教育課長)	体験学習の重要性を具現化することで了解をいただきたいと思います。 以前から総合教育会議である程度情報交換してきているので、進捗状況の報告はしたいと思っております。 実施はいつ頃ですか。 令和5年です。 もともと新型コロナウイルスがない時から始まり、状況を見てからと話をしてきましたが。今年も修学旅行に行けそうであり、来年度の事業実施が可能になりそうなので準備を進めたいということで話をしております。
(委員)	なかなか中学校の対応が大変かと思えます。
【教育長】	この件につきましてよろしいでしょうか。 《全委員異議なし》
【教育長】 (学校教育課長補佐)	続きまして、(4)愛西市教育大綱について を議題とします。 (資料No.4「愛西市教育大綱について」より説明。)
【教育長】	この件についてよろしいでしょうか。 《全委員異議なし》
【教育長】 (委員) (学校教育課長)	(6)その他についてよろしいでしょうか。 発達支援センターの立ち位置というのが今一つ理解できておりません。 組織上は社会福祉課の方で発達支援センターの位置をしており、職員も入ります。連携は密にできるようになっており、何かあれば相談できる状態です。

	当初は児童発達支援センターとしていましたが、児童を取り、発達支援センターとし、引きこもりの対策等もしてもらえることで聞いております。その中で学校教育の関係になると、小中の児童生徒のことも何かあれば受けてもらえます。
(委員)	学校経由で相談になるのか、心配事があれば自由に使えるような形なのか。
(学校教育課長)	基本的に学校経由が前提ということではないと思います。
(委員)	心配事ができた時はそのような機関であることをお知らせするのは問題ないということですか。
(学校教育課長)	本来はそちらが主で、児童生徒保護者がどこに相談したらよいか分からないということであれば連絡を取れますし、学校を通したくないということであれば直接発達支援センターでも問題ないと思います。
(委員)	医者に診てもらうのはハードルが高いので、どこか相談できたり、幼少の子であればあいさいわかばのような施設があるので、発達支援センターもそのような立ち位置になってくれると助かります。
(学校教育課長)	あいさいわかばがもともと発達支援センターに引っ付いている状態で動いているので、包括的にいろんな相談を受けられると聞いています。
(委員)	利用についての広報掲載はまだですか。
(学校教育課長)	開設に向けて準備を始めていると思いますので、開設に向けての周知、広報はされると思います。
【教育長】	今の話は現在進行中であり、学校から見てどのように福祉の方に依頼するのかについて擦り合わせをしている状態ですので、さらに福祉と教育が連携して情報共有したいと思います。 委員何かありますでしょうか。
(委員)	適正化の話ですが、検討していくプロセスを情報として市民に流すということによって提言にあり、現実にはパブコメの募集で終わるのかもしれませんが、住民の理解が進んでいろんな意見が出て集約した形でスムー

	ズに進めるのかもしれませんが。 八開の地域説明会にもありますが、通学距離が中学校の6キロ、小学校の4キロで中学校の6キロは現実にはありますが、小学校の4キロは現実的にいかなものかとなり、2キロ半を超えるような子どもたちは送迎が増えていると聞いています。
【教育長】	P T Aの総会についても話をしてください。
(学校教育課長補佐)	4月にP T A総会が各校で行われますので、その場で教育委員会が学校の適正規模について検討を進めていることを保護者にお知らせするような文書を作成し配布したいと考え、準備している最中です。
(学校教育課長)	具体的な適正化、適正配置の内容ではなく、今後の子どもの推計状況を保護者に見ていただき、イメージしていただける資料を見ていただくかと思っております。その後、適正化を考えないといけない旨を理解していただきたいと思っております。
(委員)	P T Aに出席した方のみ対象でしょうか。
(学校教育課長)	紙なので全保護者に配られるかと思えます。
【教育長】	その他よろしいでしょうか。
(委員)	適正化についてですが、平成27年のものを基にして提言を変更したということですが、具体的にどのあたりを変更されたのか記載されると分かりやすいかと思えます。
(学校教育課長補佐)	今の基本方針の見直しで中学校での小規模校の課題は、小規模中学校における課題があり、検証委員会の中でも委員の意見にありましたが、小学校よりも中学校での小規模校の課題で、教科ごとに専任科目の教職員の人数が足りなかったり、部活動の選択肢が限られる、多様な活躍機会が少なく多面的な評価の中で個性を出すことが難しい、進学の際に大きな集団への適応に困難をきたす可能性があるようなデメリットが小規模校の課題としては大きいのではないかということです。ここを解消するためにも適正化を優先的に進めていかないといけないと意見をいただいております、大きな改正としては中学校から適正化を進め、小規模校を無くし、子どもたちの発達状況に応じて色んな能力を獲得できることを目的

【教育長】	とに適正化を進めていかないといけないのではないかと意見をいただいております、それに因った改正案をいただいております。 義務教育は15歳で終わり、たまたま多くの子が上級学校に進むだけで、本来は就職してもおかしくない子を育てていく考えでいくと、アットホームな小規模ではなかなか心配ということは言われます。 それと、教員配置に関する事です。できるだけ避けなければいけません、すでに市内の学校では数学の先生が理科を教えたりすることもあります。小学校では国語から体育まで1人の先生がやって見えますと思いますが、中学校は専門性が求められるので皆さんのご理解を頂けないといけないと思います。 何かありましたらお願いします。 《委員異議なし》
【教育長】 (学校教育課長)	子育て支援策について改めて説明をお願いします。 コロナ関係でいくと、愛西市独自の事業拡大は無いかと思います。子ども医療の関係では対象を中学生から高校生までに拡大したと聞いております。 給食費無償化を4月から10月(8月を除く)までの無償化を開始しました。小中学校の無償化については、一部の小規模な自治体で給食の無償はありますが、その自治体を除けば県内でも手厚い対策課と思います。発達支援センターの設置も近隣より早めの着手になるかと思いますが、子育て支援センターも早めに着手していると聞いております。愛西市の場合、発達支援センターと元々ある子育て、包括、適応指導教室が2箇所あるのでそのあたりは手厚いかと思います。 最近、幼稚園、保育園、小学校の連携も情報交換の場を作る流れができたということで良い取り組みかと思います。
【教育長】 (学校教育課長)	特別教室の空調についてもお願いします。 令和4年度の予算で中学校だけにはなりますが、佐織中学校を除いた中学校の理科室、音楽室の空調を夏までに進めたいと思っております。 財政的な問題もあるため、小学校の特別教室は今後進めていかないといけないと思っております。

【教育長】	小学校では理科の授業で教室に持ってきてもできるので良いですが、中学校ではそうすることもできず、コロナで夏をマスクで過ごし、体調を崩した子どもや教師も見えたので今回お認め頂いたということです。海部地区の中では画期的な方で、市長部局が理解をしていただいている状況です。 その他よろしいでしょうか。 《全委員異議なし》
【教育長】	他に議題もないようですので、以上で議事を終わりたいと思います。
(教育部長)	次回定例教育委員会は、5月2日（月）になりますのでよろしくお願い致します。 3. 閉会 閉会宣言をする。